

# とらしいの山甲から

たいぶさみさき

大房岬自然公園ニュースレターNo.90

2014年  
7月



紫陽花の季節が過ぎると、一気に暑い夏がやってきます。  
夏といえはキャンプ!皆様のお越しをお待ちしています。

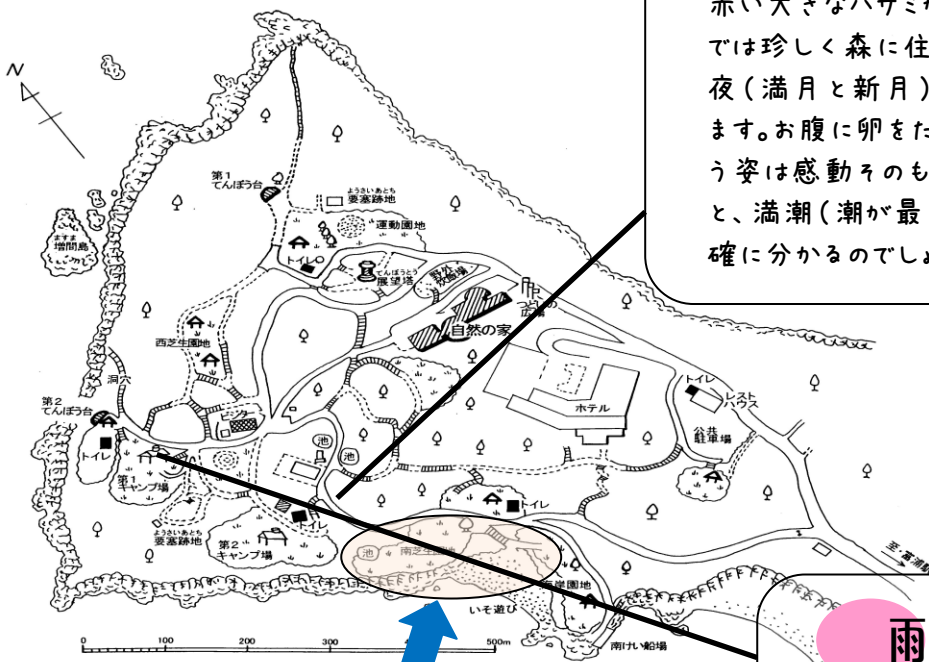
## たいぶささんぽ

自然の様子や最近の出来事など、  
旬の公園情報をご紹介します。

## 生き物の神秘!

### アカテガニ

赤い大きなハサミがかっこいいアカテガニ。カニの中では珍しく森に住むカニですが、7-8月の大潮の夜(満月と新月)には卵を放つために海へ向かいます。お腹に卵をたくさん抱えて海へ一直線に向かう姿は感動そのもの…。にしてもどうして大潮の日と、満潮(潮が最大限に満ちた状態)の時刻が明確に分かるのでしょうか?うーん神秘!



## 雨に濡れた姿も美しい

### ネムノキの花

第一キャンプ場に咲くピンク色の細い花。松尾芭蕉は「象潟や雨に西施がねぶの花」という句を詠みました。象潟の海辺でネムノキの花が雨にしおたれている様は、伝承にある中国の絶世の美女・西施が前髪を垂らしてしっとりとうつむいている様を想像させる、との意味です。雨の日、この美女に出会ってみてはいかがでしょうか?

## 夏本番!海の生き物を見つけに「磯遊び」へいきませんか?

ハゼやウミウシなどの定番のほか、夏には南からの黒潮に乗って熱帯魚もやって来ます。観察にいきませんか?

ビジターセンターでバケツ・網・箱メガネ販売中!!

公園にかかわる

ひと



### 河西茂樹さん(ボランティア)

前回号でボランティアの特集をしましたが、河西さんは自ら一人で手を挙げて下さり、6月は週1回公園の作業をお手伝いして下さいました。公園でのボランティアを希望した理由をきくと「何もしていないと体がなまるから」とのこと。ご自宅は神奈川にありますが、今年は優雅に富浦の別荘住まいだそうです。70代にはとても見えない、深刺しとしたとてもダンディな方です。